

学 個 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:保護者による学校公開アンケートにおいて、「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」という設問に肯定的な評価が90%以上 3:保護者による学校公開アンケートにおいて「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」という設問に肯定的な評価が80%以上 2:保護者による学校公開アンケートにおいて、「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」という設問に肯定的な評価が70%以上	4:3:2:1:	4	教員は研修に参加することや教材研究を行うことで、授業力を高めるよう努力をした。特に今年度は、児童のウェルビーイングの向上を目指した授業づくりの研究を深めた。学校公開における保護者アンケートにおいて「子どもたちによって分かりやすい授業をしていた」という設問に高い評価を得られることができた。 教職員は、ライフワークバランスを考え、教職員自身のウェルビーイングが高まるよう努力している。その結果、良好な人間関係が構築され、児童が安心して学校生活が過すことができる環境となっている。	A	9	・教員の長時間労働の対策など、働き方改革が急務となっている。文科省の指針を基に、教育委員会として今年度中の策定が求められるとうかがっているが、各学校各校長の意見が十分に反映されるよう働きかけが必要と感じる。 ・教職員のウェルビーイング向上が児童に伝わりますので、引き続き100%を目指していただきたい。	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	2:保護者による学校公開アンケートにおいて、「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」という設問に肯定的な評価が70%未満	3:2:1:		B	1	・継続して教員自身が「ライフワークバランスを考えて働き方改革に取り組んでいる」と回答していることは重要であると考えられる。引き続き心身の健康にご留意いただきたいと思う。		
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4	1:保護者による学校公開アンケートにおいて、「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」という設問に肯定的な評価が70%未満	2:1:		C				
		④ライフワークバランスを考え働き方改革に取り組んでいる。	4:「取り組んでいる」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「取り組んでいる」と回答した。 2:60%以上80%未満が「取り組んでいる」と回答した。 1:「取り組んでいる」と回答した教員が60%未満であった。	3		1:		D				
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い き 援 い し ま す 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:「自分にはよいところが」とある」と回答した児童の割合が90%以上 3:「自分にはよいところが」とある」と回答した児童の割合が80%以上 2:自分にはよいところが」とある」と回答した児童の割合が70%以上 1:「自分にはよいところが」とある」と回答した児童の割合が70%未満	4:3:2:1:	3	毎月のいじめ防止対策委員会の開催や学期に1回の児童へのいじめアンケートにより、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めた。 朝会での校長講話、学級指導、授業中での話の中で、自分らしく一人一人のよさを伸ばすよう児童へ話をしている。課題が生じた際には、教職員は、一人一人の児童の気持ちに寄り添い、丁寧な対応をするよう心がけた。	A	9	・なかなか難しい問題と感じる。 ・個性を伸ばしながら問題と向き合っていたきたい。 ・いじめ防止対策委員会の定期的な開催や児童へのアンケートなどを通して、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めていることは重要と考える。	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4	1:「自分にはよいところが」とある」と回答した児童の割合が70%未満	3:2:1:		B				
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		2:1:		C	1			
		④一人一人の児童の気持ちに寄り添い、課題について丁寧な対応をするよう心がけている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1:		D				
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 ぶ 空 間 ま す 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:保護者によるアンケートにおいて、「施設設備の安全管理と安全に関する指導を適切に行っている」という設問に肯定的な評価が90%以上 3:保護者によるアンケートにおいて、「施設設備の安全管理と安全に関する指導を適切に行っている」という設問に肯定的な評価が80%以上 2:保護者による「施設設備の安全管理と安全に関する指導を適切に行っている」という設問に肯定的な評価が70%以上 1:保護者によるアンケートにおいて、「施設設備の安全管理と安全に関する指導を適切に行っている」という設問に肯定的な評価が70%未満	4:3:2:1:	4	校舎改築1期工事の完成により、安心・安全な学習環境が整備できた。限られた広さではあるが仮校庭ができたことで、体育ができ、休み時間に遊ぶことができるスペースがあり、児童にとってよい環境となった。また、広い体育館を活用し、体育の授業で十分に活用でき、集会、行事など効果的に活用ができている。 避難訓練は、臨場感ある想定で行い、計画的に実施できた。様々な災害が想定されるので、今後も毎月の避難訓練において様々な想定を考え、実施していく。 「ICT環境を十分に活用した教育活動を工夫している」という取組内容において100%の教員が肯定的な回答をしている。今後もICTの活用を工夫していく。	A	9	・更なる生育環境の充実に努めて頂きたいと思う。 ・まだ仮の校庭ですので、上級生と下級生の事故にもご注意ください。 ・避難訓練の児童の姿勢を見ると計画的に避難訓練を実施していることの効果がうかがえる。継続的かつ計画的な避難訓練の実施をお願いしたい。	
		②避難訓練や安全指導などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:1:		B	1			
		③ICT環境を十分に活用した教育活動を工夫している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1:		C				
								D				
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ・ ク 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し ・ て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:保護者によるアンケートにおいて、「学校は地域の力をこどもたちの教育活動に生かそうとしている」という設問に肯定的な評価が90%以上 3:保護者によるアンケートにおいて、「学校は地域の力をこどもたちの教育活動に生かそうとしている」という設問に肯定的な評価が80%以上 2:保護者による「学校は地域の力をこどもたちの教育活動に生かそうとしている」という設問に肯定的な評価が70%以上 1:保護者によるアンケートにおいて、「学校は地域の力をこどもたちの教育活動に生かそうとしている」という設問に肯定的な評価が70%未満	4:3:2:1:	3	生活科・理科・社会科・総合的な学習の時間などにおいて、洗足池公園や洗足池図書館、複合施設となった千束特別出張所、地域包括支援センター、赤松児童館、また地域の店舗などを学習の中で活用し、地域の特色を生かした学習を実施することができた。 コミュニティスクールとなったことで、より一層、地域との連携を深めることできるようになった。拡大学校運営協議会では、学校運営協議会委員の皆様と教職員と熟議をしたり、「おたの未来づくり」の一貫として、5年児童が熟議をしたことで、児童も教職員も地域について愛着をもち、千束地区をよりよくしていくことについて考えることができた。 ホームページにより、日常の教育活動の様子を紹介した。保護者への情報の発信については「保護者連絡ツールtetoru」の活用により、迅速に学校からの文書を配信することができるようになった。今後もより効果的に活用していく。	A	7		
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:1:		B	2			
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなど連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1:		C	1			
		④コミュニティスクールとして地域と学校との連携を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3				D				

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す